

令和7年度情報モラルとプログラミング体験事業仕様書

1 事業の趣旨

家庭でのネットの活用の仕方やルールを、親子でSNSや生成AIの特性を通して学び、安全なネット活用の実践を目指す。

また、親子でプログラミングについて学び、体験することで家族の絆を深め、「とやま県民家庭の日」の活動を促進する。

2 実施日、実施回数（時間）：予定

- ・実施日：令和7年9月～10月の土日祝
- ・実施回数（時間）：3回以上（1回2時間以上：午前、午後の設定も可）

3 参加資格・人数

- ・富山県内に住む小学校5・6年生とその保護者
- ・親子20組（40名）程度×実施回数

4 場所

- ・富山県内の施設

※ 会場使用料（プロジェクター等の機材を含む）等は、受注者が支払う。

5 動画作成機器、インターネット接続環境

- ・動画作成機器は参加者持参としてもよい。
- ・インターネット接続環境については、モバイルルーター（ポケットWi-Fi等）を準備するなど、通信がスムーズに行うことができるよう配慮すること。

6 業務内容

(1) 安全にネットを活用するためのポイントや設定方法を学ぶ講義・体験

※ 学校で行われるネット教育の内容を基礎とし、ネット社会と共存していくより発展的・専門的な内容とする。

<例>

- ・ネットリテラシー、ペアレンタルコントロール（フィルタリング等）、位置情報設定、ネット配信設定等
- ・家庭でのネット使用のルールづくりのポイント など

(2) プログラミングについて学ぶ講義・体験

※ 活用することの楽しさ、家族のふれあいを意識した内容。

<例>

- ・講師と一緒にプログラミングの基礎を学び、自分でつくったプログラムが動いたきの達成感や新しいスキルを身につける喜びを味わう
- ・参加者のレベルに応じて、プログラミングの技術向上を図る
- ・参加者（親子）が共同で何かを制作したり、課題を解決したりする など

(3) 事業周知のための広報

SNS、ちらし等により事業を周知

(4) その他

- ・参加人数が限られており、多くの人に知ってもらう機会を提供するため、活動の様子（内容）が、富山県公式YouTubeチャンネルにて放映されることを前提として、講師、参加者（募集時に承諾を得る）等の肖像権、音楽等の著作権に係る調整を行い、受注者の責任において権利関係を処理しておくこと。（撮影・編集は富山県が行い事業実施後もアーカイブとして視聴できるようにする予定）

※ 条件等がある場合は、事前に協議し可能な範囲で放映できるよう調整する。（活動の様子の一部のみ放映、限定公開：小・中学校へURL案内、期日指定等）

- ・感染症、熱中症等、参加者の体調管理、安全確保について配慮すること。

7 その他、業務執行上の留意点

- ・委託業務の実施にあたっては、発注者（青少年育成富山県民会議）と協議及び打合せを十分に行い、業務を進めること。
- ・業務の受注にあたり入手した個人情報等は、本事業の目的以外には一切使用しないものとする。
- ・この仕様書に定める業務内容の詳細については、発注者の指示に従うこと。また、この仕様書に定めのない事項については、必要に応じて発注者と協議すること。
- ・本仕様書は、プロポーザル用であり、採用候補者とは、内容を協議の上、契約を締結するものとし、契約内容については、協議の中で企画提案書の内容から変更・修正する場合があること。